

令和6年産水稻の出穂状況について（7月24日現在）

1 出穂状況等（概況及び今後の管理）

- 7月24日現在、水稻作付見込面積の9.2%の水田が出穂期^{※1}に達している。県全体の出穂始期^{※2}は、7月24日で平年より4日早い。
- 出穂直前から穂揃期は稲が最も水を多く必要とする時期なので、水を切らさず土壌を湿った状態に保つ「飽水管理^{※3}」を徹底する。
- 斑点米カメムシ類の発生量は平年より多く、早く発生している。出穂状況を確認して防除時期が遅れないよう注意し、「穂揃期」と「その7～10日後」の2回防除を基本として実施する。ただしほ場内に雑草が残っている場合は、1回目の散布時期を「出穂始～穂揃期」に早めると効果が高まる。

※1 出穂期（しゅつすいき）：ほ場内の50%以上が出穂に達した時期
 ※2 県全体の出穂始期：水稻作付見込面積の5%以上が出穂期に達した時期
 ※3 飽水管理（ほうすいかんり）：田面が浸るくらいに入水し、水田にある足跡に水がなくなる頃を目安に入水する水管理方法。必要とする水の量が少なく、出穂後高温による玄米の品質低下を抑制する効果がある。

2 出穂状況（具体的データ）

（1）県全体

区分	出穂始期 (5%)	出穂期 (50%)	穂揃期 (95%)
本年	7月24日	未	未
平年	7月28日	8月1日	8月9日
平年差	4日早い	—	—
(参考)前年	7月26日	7月30日	8月5日

※平年値は平成26～令和5年の10ヶ年のうち最も早い年と最も遅い年を除いた8ヶ年の平均値。

（2）地方振興事務所・地域事務所別

地区名	水稻作付見込面積 (ha)	7月24日現在出穂状況		出穂(月日)			(参考)平年値		
		出穂面積 (ha)	進行率 (%)	出穂始期	出穂期	穂揃期	出穂始期	出穂期	穂揃期
大河原	6,014	2,110	35.1	7/20	未	未	7/27	7/31	8/9
仙台	10,381	1,936	18.7	7/22	未	未	7/28	8/1	8/8
大崎	15,997	825	5.2	7/24	未	未	7/28	8/1	8/8
栗原	8,529	104	1.2	未	未	未	7/29	8/1	8/10
登米	8,761	105	1.2	未	未	未	7/29	8/1	8/7
石巻	6,470	123	1.9	未	未	未	7/29	8/1	8/9
気仙沼	612	0	0.0	未	未	未	8/1	8/4	8/10
県計	56,763	5,203	9.2	7/24	未	未	7/28	8/1	8/9

※出穂始期、出穂期、穂揃期は、進行率がそれぞれ5%、50%、95%に達した時期をいう。
 ※作付見込面積は令和5年産の水田における作付状況（令和5年9月15日時点）の主食用米面積を用いた。
 ※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。
 ※平年値は平成26～令和5年の10か年のうち最も早い年と最も遅い年を除いた8か年の平均値。

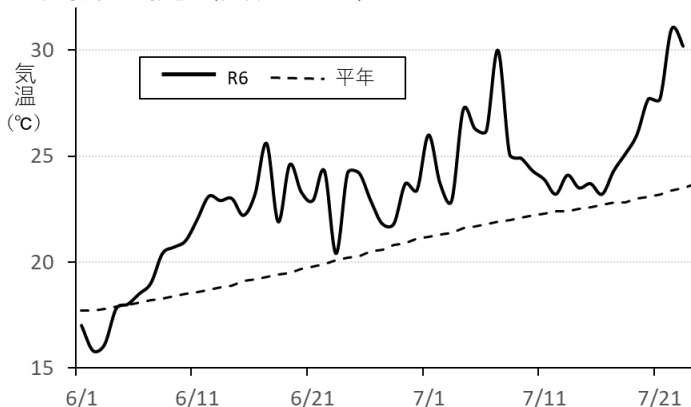
（3）地帯区分別

地帯区分	水稻作付見込面積 (ha)	7月24日現在出穂状況	
		出穂面積 (ha)	進行率 (%)
山間高冷	830	18	2.2
西部丘陵	4,775	322	6.7
北部平坦	37,801	1,673	4.4
南部平坦	4,877	1,931	39.6
三陸沿岸	1,190	16	1.3
仙台湾沿岸	7,290	1,243	17.1
県計	56,763	5,203	9.2

※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

3 気象経過（仙台アメダス）

平均気温の推移（仙台アメダス）



時期	平均気温(°C)		降水量の合計(mm)		日照時間(時間)	
	平年差	平年比	平年比	平年比		
5月	17.8	2.2	82.0	74%	235.6	123%
6月	21.5	2.3	93.0	65%	198.7	138%
7月	25.7	3.9	46.5	75%	27.9	73%
	24.5	1.8	20.5	31%	34.3	90%

※次回は7月29日の調査結果を7月30日に発表予定です。